

2007年3月9日

社会保障審議会医療部会
部会長 鴨下 重彦 殿

社会保障審議会医療部会
委員 堤 健吾

後期高齢者医療の在り方について

後期高齢者医療の在り方に関する「基本的な考え方」の取りまとめにあたって、下記のとおり、意見を提出いたします。

記

1. 後期高齢者に対しては、その心身の特性を重視し、加齢に伴う身体機能低下の進度、疾病の状況などを体系だて、適切に医療を提供していくことが必要である。
2. 基本的な視点として、「生活の中の医療」「尊厳に配慮した医療」「安心できる医療」に加え、制度の持続可能性を高める観点から「効率的・効果的な医療提供」の視点が不可欠であり、以下の点を踏まえ、新たな診療報酬体系を構築すべきである。
 - (1) 外来も含めた包括的な診療報酬体系の構築
 - (2) 客観的な基準に基づいた「かかりつけ医」制度の導入
 - (3) ICTを活用した医療の透明性の確保
 - (4) 医療と介護の役割の明確化と適切な連携、民間の創意工夫の活用

以上